

『性のグラデーション』

すべての人は生まれながらにして自由であり
かつ尊厳と権利について平等である
— 世界人権宣言より —



©fumira

色をぬってみましょう。

何色・・・

男の子・女の子、それぞれの持ち物などを何色に塗りましたか

(塗ろうと思いましたか?)・・・

あなたが何気なく塗った(塗ろうとした)その色にも、潜在的な「ジェンダーバイアス」が大きくかかわっています。



ジェンダーバイアスとは？

男女の役割について固定的な観念を持つことを指します。「男の子は青色が好き」「女の子はピンク色が好き」「男性は力持ち」「女性は力が弱い」など、無意識に「男・女はこうあるべき、こうであるはずだ」というイメージを持っていませんか。

例えば、『桃太郎』の中の「おじいさんは山へ芝刈りに、おばあさんは川へ洗濯に行きました」という描写について、そこには「男性は外に出て働き、女性は家事を行う」という私たちの偏った認識があると解釈することもできます。

あるクイズを紹介します。

ある腕利きの外科医が、大学病院に勤めていました。ある日、たいへんな手術を無事成功させたその医者が控室に戻ると、看護師から緊急の連絡が入りました。

「先生、交通事故で大けがをした人が運ばれてきました。緊急のオペをお願いします。事故にあったのは2人で、父親と息子さんのようです。息子さんはまだ息がありますが、父親は即死だそうです・・・」

その医者は疲れた身体にムチを打ちながら、急いで処置室に向かいました。するとそこには、まだかろうじて息があるという男の子が横たえられていました。しかし、その子の顔を見たとき、医者は愕然としました。

なぜなら、その子は腕利き外科医の息子だったからです！！

しかし、父親は確かに即死したとのこと。一体どういうことでしょうか？

いかがですか？ みなさんは、このクイズの答えはわかりましたか？

固定的な概念にとらわれずに考えると、「これってクイズなの？」と思われるかもしれません。

普通!?

当たり前!?

「男性は女性を好きになり、女性は男性を好きになる」

この考えも、ひとつのジェンダーバイアスと言えます。私たちの多くは、様々なメディアや家族・友人・職場などの人間関係の中で、「異性を愛する」ということが当たり前であると考え“バイアス”を持つようになったと言えます。しかし実際には、様々な性指向を持っている人たちがいて、また身体的な「性」と心の「性」に違和感を持って暮らしている人たち（それらの方たちは性的マイノリティといわれる）もいます。決して「男性は女性を好きになり、女性は男性を好きになる」ことが、当たり前の世の中ではないのです。

日本の全人口における、左利きの方の割合とほぼ同じ

①『約11人にひとり』②『1,052組』この2つの数字は…?

- ①『約11人にひとり』は調査会社が行ったアンケート結果での性的マイノリティといわれる人たちの割合です。(2019博報堂DYグループ調べ)
- ②『1,052組』は、全国の自治体での『同性パートナー*』認知件数です。

『同性パートナーシップ制度』とは?

同性カップルに対し、二人のパートナーシップが婚姻と同等であると承認し、自治体が独自の証明書を発行する制度。
ただし、国が法律で認める「結婚」とは違うものなので相続などの問題は解決しない。ちなみに、福井県内でこの制度を導入している自治体はない。(令和2年10月現在)



「知らなければ守ることのできない人権」があります。

知っていきませんか？ 少しずつ、少しずつ……

「誰か」のことじゃない……

性のあり方を考える4つの要素

一般的に、「性別」と聞くと、「身体の性」をイメージするのではないだろうか。

男と女の2通りしかないと考えられがちですが、本来はもっと多様で、100人いたら100通りの性のあり方があります。

性のあり方は、主に4つの要素の組み合わせからできていると考えられています。

からだの性 [身体性/Sex]	生物学的に持っている体の特徴が男性か、女性か。
こころの性 [性自認・性同一性/ Gender Identity]	自分の性をどのように認識しているか。男女どちらでもある、いずれでもない場合もある。
好きになる性 [性的指向/ Sexual Orientation]	恋愛や性愛の対象として魅力を感じる性対象のこと。異性愛、同性愛、両性愛など。
表現する性 [性表現/ Sex expression]	服装、言葉遣い、しぐさなどを、どのように表現したいのか。



LGBTQ・・・?

性的マイノリティを総称する言葉として使われます。

性のあり方（セクシャルリティ）は多様で、一人ひとりが持つ個性といえます。その中でも、性のあり方が少数派の人々を性的マイノリティといい、代表的な5つの頭文字から『LGBTQ』と呼ぶことがあります。

L レズビアン	こころの性が女性で、好きになる性が女性。
G ゲイ	こころの性が男性で、好きになる性が男性。
B バイセクシャル	好きになる性が異性の場合も同性の場合もある人。
T トランスジェンダー	からだの性と、自認する心の性が異なる人。からだの性別とは異なる性別を生きる/生きたいと望む人。
Q クエスチョニング	性のあり方が自分でもよく分からない決めたくない人。

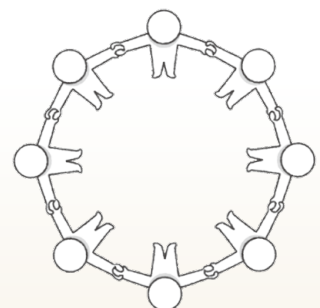
SOGI・・・

SOGI（ソジ）とは、性のあり方を考える4つの要素のうち、「性的指向」（Sexual Orientation = SO）と、「性自認」（Gender Identity = GI）を略したものです。LGBTがレズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダーという「誰」を指すのに対して、SOGIは「どんな性別を好きになるのか」、「自分自身をどういう性だと認識しているのか」という「状態」を指すので、私たち全員が含まれる。

SOGIはすべての人の属性であり、「属性にかかわらず、平等に扱う」という意味でつかわれている。

他にも知っておきたい言葉

用語	意味
ヘテロセクシャル	異性を好きになる人。
ホモセクシャル	同性を好きになる人。
パンセクシャル	全てのセクシャリティを好きになる人。
アセクシャル/ エイセクシャル	いずれのセクシャリティも好きにならない人。
エックスジェンダー	心の性が男/女に二分できないトランスジェンダー。男と女の間である中性。どちらにも属する両性、どちらにも属さない無性など。
シスジェンダー	生まれたときに割り当てられた性別と性同一性が一致し、それに従って生きる人。
クィア	性的少数者が自らを肯定して使用する総称。
トゥースピリット	複数の性役割を生きる人。
ダイバーシティ	「多様性」のこと。性別や国籍、年齢などに関わりなく、多様な個性が力を発揮し、共存できる社会のことをダイバーシティ社会という。
性分化疾患	性染色体や内外性器などから、からだの性が男/女いずれかはっきり区別できない状態を指す医学的な診断名。



身近な人の体験から

ケース2

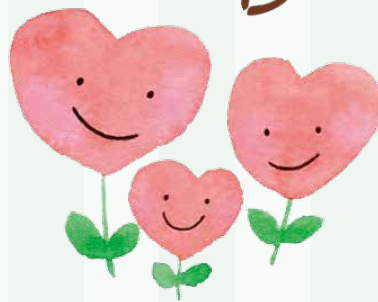
結婚出産するが、離婚する。男性に性転換するも周りには陰口や嫌がらせなどをされた。

ケース1

角刈りで男顔。
一般的に男性が使う言葉を使うが、身体は女性。
高校時代に同じ女性を好きになる。周囲には「生理的に嫌」と言われたり、同僚の嫌がらせを受けたりするなどの体験をした。
母親は自分のありのままを受け入れてくれた。

ケース3

2度結婚して離婚している。男性の身体に対する違和感が常にあり、昔は丸刈りが嫌で、スカートを履きたいと思っていた。また、人形遊びが好きで自分を解ってくれる女の子と遊んでいた。(この方は、バイセクシュアルでもある。)



～三者の共通した気持ち～

心の性と身体の性の違いは自覚していた。心と身体が一致しない違和感は常に感じていた。自分はこれが普通だと当たり前前に思っていることを周囲の人は違うと言う。なぜ自分の思う通りにしてはいけないのかわからなかった。

ただ、“何もしなくていい”というわけではなく、“行動しよう”という意識を持つことも大切なこと。社会を変えるために、あなた自身が行動してみませんか？

あなた（わたし）にできること

Learn（知識を身に付ける）

基本的な知識を知ること支援のひとつ。理解しようという姿勢を持つ。

- ・多様性に関する本を身近に置く。
- ・本やインターネットで調べる。
- ・講演会やイベントに参加する。

Protect（守る）

差別的な言動からLGBTを守ろう。

- ・無自覚にしてしまう差別的発言をひとつずつ改めていく。
- ・間違った会話は訂正する。



Think（考える）

隣の人がLGBTなら？と考える。自分の言葉や思い込みを見直し、会話を意識しよう。

- ・性別を限定した言葉を使わない。
(例: 彼氏いるの? ⇒ 付き合っている人は? 等)
- ・差別的な呼び方 (オネエ・ホモ・レズ等) を使わない。
- ・相手のセクシュアリティの詮索や揶揄をしない。
(例: 女っぽいから実はゲイでしょ? 等)

Listen（傾聴）

相談やカミングアウトをされた時はゆっくり話を聞き、まずは勇気を出して話してくれたことに対して「ありがとう」と伝えることから始めてみよう。



レインボーフラッグ

虹をモチーフにしたLGBTの尊厳と社会運動を象徴した旗。

サンフランシスコのギルバート・ベーカー氏によって考案され、1970年代から使われ始めた。

子ども達の性の多様性

なかおか
仲岡 しゅん 弁護士（うるわ総合法律事務所）

LGBTなど性の多様性の問題というと、大人同士での人間関係の問題として捉えている方も少なくないようですが、実際には、日々学校生活を送っている子どもたちにとっても重要な問題だと常々思うところです。また同時に、学校現場で子どもたちと直に向き合う立場にある教職員にこそ理解が必要です。

LGBTの人口割合については様々な調査がありますが、少なくとも人口の数%はLGBTであってもおかしくない、というのが一般的な見解です。この割合は、未成年の場合であってもさほど変わらないはずですし、未成年の当事者本人がまだ自覚していない場合であっても、潜在的な当事者であることには変わりありません。

そうすると、ある学校の一クラスが数十人とすれば、その中に何人かLGBTの当事者がいたとしてもおかしくない、という割合になります。（もちろん、誰が当事者か探せと言っているわけではありませんし、むしろ不要な当事者探しをすることは差別につながります。）

その中で、子どもたちの置かれている状況の特殊性を踏まえた上で、私たち大人の側が、当事者の子どもたちにとって苦しくないような環境を作っていく必要に迫られています。

まず、子どもたちの社会は、大人たちが思っているよりも閉鎖的で人の流動が少ないという特徴があります。日本の学校は、小学校から高校まで、基本的にクラスごとに区分けされています。我々大人の場合は、引っ越ししたり、転職したりなど、自分の判断で生活の場を変えることができますし、職場以外にも各々の趣味に応じて比較的自由に人間関係を作ることが可能です。しかし、子どもの場合、自分の都合や判断で生活の場を変えるわけにはいきませんし、また、学校や校区を超えて人間関係を持つことも自由にはできない面があります。

また、学校という場は、ジェンダーバイアスが非常に強い傾向にあります。例えば、近年ようやく「LGBTへの配慮」（実際には、もっぱらTへの配慮なのですが）という名目で、制服のズボンとスカートを選べる学校も増えてきたようですが、むしろ私は、LGBT以前の問題として、なぜ女子生徒用の制服は大抵どこの学校もスカートなのかという点がそもそも疑問です。大人の社会では、今やズボン姿の女性のほうが多いくらいなのですが、学校ではなぜか女子はスカートという、ジェンダーバイアスに基づいた謎のルールが未だに通用しています。また、学校現場では、とりたてて



◆ 経 歴 ◆

大阪弁護士会に所属する弁護士。
男性として生まれたが、現在、女性弁護士として弁護士登録し業務を行う。
大阪の西天満で「うるわ総合法律事務所」を開設し、弁護士4名で民事、家事、刑事など幅広い分野を扱う。
LGBTなどをはじめ、ジェンダー、セクシュアリティに関する相談や問題にも多く対応する。

必要性がないのに、「女はこう、男はこう」と児童・生徒を区分けすることが多い傾向にあります。

更に、他のマイノリティーの問題ととりわけ異なる点として、LGBTの子どもたちには、家庭内に理解者がいるとは限らないという点があります。民族や出自の場合、家族が似た属性にあることが多いのですが、LGBTの場合、むしろ親から拒絶されてしまうケースや、身近な人だからこそ言いにくいという問題があります。

こういった子どもの社会に特有の状況からすると、LGBT当事者や潜在的当事者の子どもたちの幸せのために、学校の先生たちや親には、何が必要でしょうか。実際、教職員研修などで学校から呼ばれた際に、先生方から同様の質問は非常に多く投げかけられます。

それに対して私なりに言うならば、「なにか特別なことが必要なのではなく、やってはいけないことをしないこと」こそが大事なのだと思っています。LGBT当事者の子がいるかもしれないからといって、とりわけ何か特別なことをする必要はありません。大事なのは、やってはいけないことをしないことです。そして、その、やってはいけないことの主なものは、具体的には、ジェンダーバイアスによる決めつけ、性に基づくからかい、アウティングなどです。

ジェンダーバイアスによる決めつけというのは、「女の子なんだから」「男のくせに」など、親や先生が、子どもたちに対して、性規範に従うことが当然であるかのように言うことです。このような言い方をする先生は一昔前の学校にはしばしばいたものですが、このような言い方は、LGBT当事者だけでなく、それ以外の女子や男子にとっても理不尽な思いを抱えてしまう子は少なくないと思われます。また、先ほどの制服の問題もまさにジェンダーバイアスの一種でしょう。

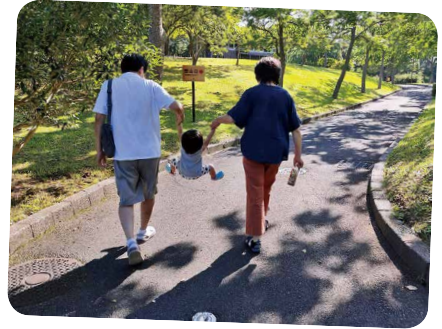
次に、性に基づくからかいというのは、同性愛的な表現をちゃかしたり、トランスジェンダーを笑いものにしたりすることです。こういった言動は、たとえそれが直接本人に対して向けられたものでなくても、その場にいるであろう潜在的な当事者の自尊心を下げる強い効果があります。また、そういうことを先生が率先してやっている場合、もし当事者の子どもが悩みを抱えていたとしても、そんな先生には決して相談したいとは思えないでしょう。

また、アウティングというのは、本人の承諾なく、人の性的指向や性自認を言いふらすことです。これは、多くの当事者にとって非常に嫌がられる行為です。例えば、その子からすれば、「この先生なら分かってくれる」と思ってカミングアウトしたのに、実はその先生が、その子からすれば一番知られたくなかった親やクラスメイトに勝手に言いふらしていたという場合、その子はどう思うのでしょうか。一番辛い状況に追い込まれることは想像に難くありませんし、先生への信頼もまったく失われるでしょう。

子どもと向き合う立場にある大人たちは、こういった点によく気を付けておく必要はあります。先ほども述べましたが、別に当事者探しをする必要もなければ、カミングアウトをしてもらうことが大事なでもありません。やってはいけないことをしないことを心がけ、当事者の子にとって過ごしやすい環境を作っておくことが肝要です。

そして、子どもたちからもし相談などがあれば、安易に否定から入らず、たとえすぐには理解できない場合でも、少なくとも真摯に聞くこと、そして一緒に考えること、それこそが本当に当事者の子どもたちに向き合うことではないかと思っています。そしてまた可能であれば、LGBTに限らず、性の多様性やジェンダーの平等に関する授業に取り組むのも良いかもしれません。

私もそれなりに多くの学校などで子どもたちに性の多様性についてお話してきましたが、意外と子どもたちは聞いてくれるものです。性の問題だからと及び腰にならずに、子どもたちの可能性を否定しないことが大切です。



みんなの笑顔が
MIHAMA
かがやく美浜



★今年度の啓発資料「ふれあい」はいかがでしたか？★

・以下の点に対して、どう感じられましたか。それぞれ当てはまるものに○をつけてください。

1 見やすさ	5	4	3	2	1
2 内容のわかりやすさ	5	4	3	2	1
3 興味深さ	5	4	3	2	1

(※5が一番よい評価)

★感想・その他★

「ふれあい」や人権協の活動についての感想・ご意見・ご要望を書いてください！

ご住所 (番地までお書き下さい。)

お名前

※お便りをいただいた方の中から抽選で図書カードをお送りします。



山折り

919-1190

料金受取人払郵便

敦賀局
承認

2076

差出有効期間
令和3年2月
12日まで
(切手不要)

美浜町教育委員会事務局内
美浜町人権尊重啓発協議会 行き

福井県三方郡美浜町郷市二五―二五



山折り

切り取る

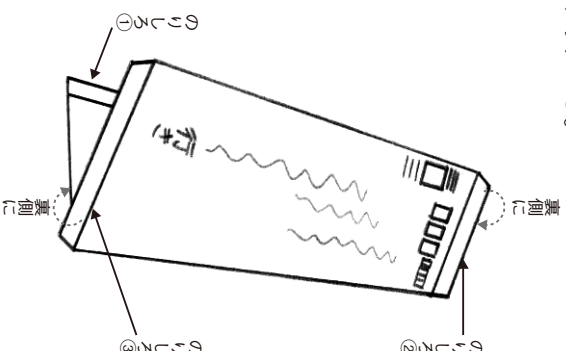
のりしろ②

山折り

のりしろ③

のりしろ①
山折り

この用紙の使い方
宛先が図のように
なるように三つ折
にして、のりしろの
①②③どうしを貼
りあわせる。



切り取る

